

2026 年 8 月 4 日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2026 年夏)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/saga/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行佐賀事務所 Tel : 0952-23-8165

1. 総論

○ 佐賀県の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、全体としては横ばい圏内にある。

最終需要の動向をみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、減少している。設備投資は、減少している。

こうした中で、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、改善している。

先行きについては、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向、AI関連需要を含む海外の経済・物価動向、コスト高とその波及などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

< 景気判断の前回との比較 >

項目		基調判断	
		前回(2026 年春)	今回(2026 年夏)
景 気 全 体		横ばい圏内の動きとなっている。	一部に弱めの動きがみられるが、全体としては横ばい圏内にある。
需 要 項 目	個 人 消 費	一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。	一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。
	住 宅 投 資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	公 共 投 資	高水準で推移している。	減少している。
	設 備 投 資	高水準ながら減少している。	減少している。
生 産		横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得		改善している。	改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。

▽個人消費関連の動向

非 耐 久 消 費 財	百貨店・スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	底堅く推移している。
耐 久 消 費 財	家電販売	持ち直している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直している。
サ ー ビ ス	旅行・観光	底堅く推移している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱めの動きとなっている。
4～6月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、減少している。
4～6月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、減少している。
法人企業景気予測調査(2026年4～6月期調査)における2026年度の設備投資は、前年度を下回る計画となっている。

6. 生産

- 生産(鉱工業生産)は、横ばい圏内の動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

食 料 品	弱含んでいる。
化 学	振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
電 気 機 械	振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
電子部品・デバイス	回復している。

7. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、改善している。

労働需給をみると、6月の有効求人倍率は、前月を上回った。

5月の雇用者所得総額¹は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

8. 物価

- 6月の消費者物価(佐賀市、生鮮食品を除く総合)は、前年比+0.8%となった。

9. 金融²

- 6月の預金残高をみると、前年を上回った。
- 6月の貸出残高をみると、前年を上回った。
- 企業倒産は、振れを伴いつつも増加している。

4～6月の企業倒産をみると、件数は前年を下回ったものの、負債総額は前年を上回った。

以 上

1 雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額(名目)＜ともに事業所規模5人以上＞」で算出。

2 預金・貸出残高の前年比は、国内銀行(ゆうちょ銀行等を除く)の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「県別預金貸出金残高統計」参照。